

農林水産大臣賞

## 大ロットとシステム（予約）販売による素材の安定供給

生産者サイドに立った取り組み

株式会社人吉素材流通センター

□事業体の構成

代表者 泉 忠義

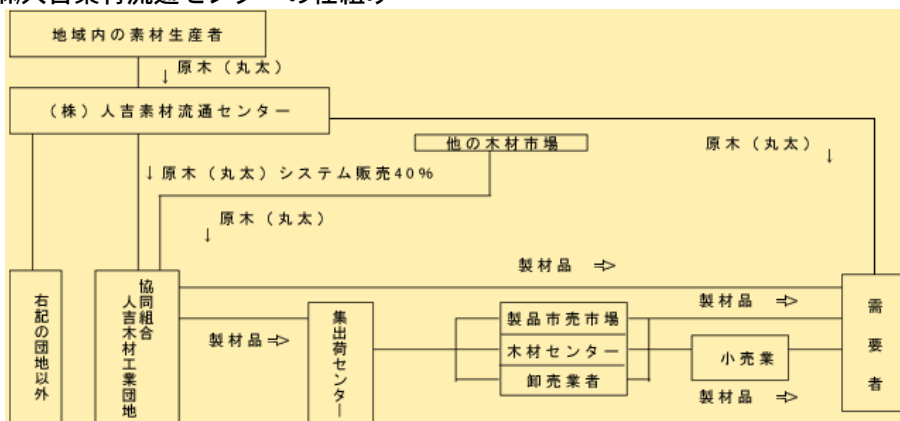
〈事業体の構成〉

〒868 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3451-18

TEL0966-24-8845



### □(株)人吉素材流通センターの仕組み



## 1 地域の概要

球磨地域は熊本県の南部に位置し、東・南部は宮城県と接し、森林面積は127,016haで、熊本県の林野面積の27%を占め、林野率83%と圏内で最も高く、林業生産活動が盛んな地域であり、県下の林業生産額の約30%を当域で生産している。

## 2 事業内容等

### (1) 事業の目的

木材業界の現状と問題点を乗り越えていく健全な体質を確立するため、生産性の向上と減量経営を目指し、製材業者と関連業者が集団化した協同組合人吉木材工業団地並びに地域木材業界への素材の安定供給を行う。

### (2) 事業の内容

当センターは、主な取扱い素材は、杉65%、檜30%、その他5%の構成である。また、取扱い額では、設立目的の協同組合との取引額が40%弱を占めている。

なお、市場手数料は6%で、代金支払いは、市後10日目に現金払いを行っている。

### (3) 施設の整備状況

土場面積35,217m<sup>2</sup>、フォークリフト7台、ホイールローダー2台、選別機2基

### (4) 事業の実績

当センターは、60年創業以来素材運搬経費の削減策、過積載の回避策並びに木

材需要拡大の促進策として、葉枯らし材の普及啓発も行っており、63年国有林寒切り材まつりを初回から連年10回、主会場として開催され、地域の林業・林産業関係者に対する指導的地位にある。

年間取扱い量の約半分は、葉枯らし材を集荷しており、さらに普及するため、平成8年度から、葉枯らし材には、生産者（山元）にm3当たり30円を還元することとしている。

さらに、平成6年から出荷者に対する山元還元策として、売上割戻金支払いを実施し、出荷者に対してm3当たり25円と、売上額に対して1/1,000の還元を連年実施している。

また、需要者に直接素材（主に並材）を販売する方式を実施（取扱量の約40%）し、遠くは四国並びに熊本、大分等へ直売方式で販売しているが、今後、このシステム（予約）取引方式をさらに増やしていきたいと考えている。

直接販売は、市場は通して販売するという形をとっており、競りにはかけずに選別して販売する方式で、価格は、基本的には四半期ごとに決定することとしているが、現在は価格の変動が大きいため、次期開催市の価格で協議して決定している。

種別	平成5年度	平成6年度	平成7年度
販売量	51,000 m <sup>3</sup>	59,000 m <sup>3</sup>	64,000 m <sup>3</sup>
販売額	1,631.450 千円	1,561,230 千円	1,463.106 千円
販売単価	27.612 円	24.278 円	23.968 円

#### (5) 事業の成果

当センターは、生産者サイドに立った市売りと、ヒノキ丸太集荷で事業の拡張拡大を図っており、特に生産者サイドに立ったことがセンターの成長に繋がり、センターへの出荷者は約100人に及び、取り扱い量も年々増大し、現在は年間6万m3の大台を突破し、郡市内の6市場中、一位の量を取り扱っており、熊本県全体の1/3の森林資源を有する球磨林業の「要」となっている。

また、全国に先駆けて「大口供給」に取り組み、市時間の短縮やはい積み料の軽減を図るなど近代的供給体制をいち早く導入し、安定供給システムを構築している。

#### (6) 今後の取り組み

今後ますます流通システムが変革することに対処するため、〈1〉効率の良い土場回転、〈2〉売り方、買い方のメリット、〈3〉早期の支払い還元等を図りつつ、並材の太宗は直接販売で、また優良選木材を市売り販売とし、選別市場として生き残りをかけ、より多く山元へ還元できるような事業を推進していく。